

山東横浜ゴム工業製品有限公司 CSRレポート

事業内容: コンベヤベルトの製造販売

敷地面積: 50,000m²

従業員数: 282人

所在地: 山東省濰坊市臨朐県

相談・苦情などの受付窓口:

TEL: 0536-334-3576 FAX: 0536-335-3515

メールアドレス: wflqwenli@yahoo.com.cn



社長ご挨拶



張 玉筍

当社は2006年1月に、山東躍馬膠帶有限公司と横浜ゴム(中国)有限公司の合併会社として、中国山東省のほぼ中央、青島市から車で3時間の臨朐県に設立されたコンベヤベルトの生産販売会社です。

環境に関しては、年々中国も環境対策への関心が高まりつつありますが、中国随所で見られる大気汚染など、経済・工業の発展に環境対策が追いつかないといった状況下、ベルト

ユーザーからも環境関連商品への注目度が高まっています。このような中国市場において当社は、パイプコンやエコベルトなど環境に優しいベルトを市場に投入し中国市場で拡販すべく取り組んでいます。このような活動の結果として、最近ベルト業界では、ク

リーンで高品質な最新鋭の日系合併企業として位置付けられ、政府関係者の視察も頻繁に実施される注目度の高い会社となってきています。

2013年8月24日には「千年の杜 第3回植樹会」を開催。当地における「YOKOHAMA千年の杜」プロジェクトを引き続き進めています。

安全に関しては、2013年6月に実施した臨朐県安全局幹部他政府関係者ならびに地元企業代表 計30名が見学する中での「第2回全社防災訓練」や、12月の横浜ゴムによる「公開作業観察」のデモンストレーションを通じた安全教育を実施。こうした取り組みの成果から、従業員の安全に対する意識が向上したことで、現在に至るまで無災害を継続しています。

これからも、地域社会に貢献するトップレベルの環境貢献企業を目指して邁進したいと考えております。

人権

男女平等の推進

待遇面など、男女の差別はまったくありません。

人権教育

人権教育は特別実施していませんが、従業員同士のコミュニケーションを図るべく活動を奨励しています。

労働慣行

毎月、安全環境会議を開催し、前月の工場パトロールでの指摘事項の改善報告、工場パトロール、環境報告等を実施しています。その指摘事項を展開することで、一人一人の安全意識が大きく向上しています。

また、災害時の対応として、6月26日に臨朐県安全局幹部他政府関係者ならびに地元企業代表 計30名が見学する中で「第2回全社防災訓練」を実施しました。その中で、消火訓練、避難訓練、けが人の救護の訓練を行い、災害発生時の対応に備えています。



防災訓練の様子

環境方針

基本理念

我々は、地球環境を保全する重要性を十分認識し、全ての経営事業において、積極的に環境保護活動、地球温暖化防止に取り組み、環境経営を継続的に推進し、持続発展可能な循環・節約型社会への変換に貢献する。

環境方針

- (1) 環境に関する法律やルールを遵守します。
- (2) 環境保護を重要課題とし、EMSで管理します。
- (3) 環境保全に関する方針や教育を全ての社員と地域で共有化します。
- (4) エネルギーの節約、屑発生量の低減、再利用活動の推進、など環境負荷低減に率先して取り組みます。ゼロエミッションを実現します。
- (5) 最良の環境貢献企業となることを目的とする、YRC日本の中期計画としての環境GD(グランドデザイン)100活動を推進します。
 - I. 継続的に我々の環境経営を改善してゆきます。
 - II. 地球温暖化防止を推進してゆきます。
 - III. 持続可能な循環型社会実現に貢献します。

環境マネジメント

2012年度に引き続き、2013年も環境事故、環境ヒヤリ、ゼロを達成しました。また、近隣住民からの騒音、臭気、振動などの苦情はありませんでした。

環境データ

項目	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	
廃棄物発生量(t)	639	777	129	213	225	
埋立率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
エネルギー使用量 (原油換算:kl)	電力	1,188	1,433	1,495	1,459	1,471
	燃料	3,235	4,388	3,819	3,846	3,998
	合計	4,423	5,821	5,309	5,305	5,469
温室効果ガス排出量(千t-CO ₂)	13.9	18.5	16.6	16.7	17.3	

※年度：1月～12月
 ※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。

公正な事業慣行

汚職に関する方針

当社購買部では相見積りや入札の実施、発注関門の設置（経営幹部の確認（サイン）なしでの発注ができない仕組み）等により発注時の不正行為を防止しています。

消費者課題

ユーザーとのコミュニケーション

会社幹部が定期的にユーザーを訪問し、製品使用状況や要望事項などの意見をお聞きする交流会を実施しています。

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

地域社会とのかかわり

2013年8月に開催した千年の杜への参加を検討しましたが、「反日運動」の影響を鑑み、鎮政府環境局幹部の参加に留め、地域住民の参加を制限しています。

